

令和4年度第2回 益田市障がい者自立支援協議会 全体会次第

日時：令和5年3月27日（月）14:00～15:00

会場：益田市役所 大会議室

1 開会

2 障がい者福祉課長あいさつ

3 会長あいさつ

4 報告事項

（1）専門部会及び相談支援会議の活動報告について（資料1-1～1-4）

（2）第6期益田市障がい者基本計画等策定について（資料2）

5 議題

（1）居宅介護事業所休止に伴う課題について（資料3）

（2）令和5年度運営体制について

- ・精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの協議の場について（資料4）

6 その他

- ・個別避難計画の策定について（資料5）

7 閉会

令和４年度益田市障がい者自立支援協議会委員名簿

所 属	職 名	委員名	備考
益田市基幹相談支援センター	主任生活相談員	野村 健	
地域生活支援センター ポケットプラザ	施設長	後藤 美穂子	
相談支援事業所 ほっと	管理者	福原 直美	欠
障がい者支援施設 ラポール宝生苑	施設長	牧原 直也	
相談支援事業所 ぷらっと	管理者	池永 綾子	
サポートセンター F O H	施設長	檜谷 佳誉子	
西部島根医療福祉センター あゆっこ益田	主任	古川 和子	
株式会社 きのこハウス	代表取締役	山口 育美	
N P O法人きずな ひまわり家	所長	隅田 典宏	
益田市社会福祉協議会	地域福祉部長	中島 克仁	
益田市障害者福祉センター あゆみの里	施設長	岩本 悟	欠
障がい者支援施設 希望の里	施設長	望月 浩幸	
益田障がい者就業・生活支援センター エスポア	所長	青木 浩文	
島根県西部発達障害者支援センター ウインド	副センター長	石田 英巳	欠
正光会 松ヶ丘病院	統括部長	枡本 典子	
益田地域医療センター 医師会病院	作業療法士	川崎 訓明	
島根県益田保健所	所長	長崎 みゆき	欠
益田市民生児童委員協議会	副会長	寺戸 弘明	
益田市身体障害者福祉協会	副会長	安部 利一	欠
益田公共職業安定所	統括職業指導官	青木 真由美	
島根県益田児童相談所	判定保護課長	石飛 美登里	欠
島根県立益田養護学校	校長	八束 政義	
益田市手をつなぐ育成会	監査	露口 慎二	
益田地域家族会	理事	澤江 功一	
益田圏域難病患者・家族連絡会	共同代表	水上 真一	

1. 相談支援事業者 2. 障害福祉サービス事業者 3. 保健・医療 4. 教育・雇用関係の推薦する者 5. 障がい者関係団体の代表
6. 学識経験者 7. 関係行政機関の職員 8. 障がい者又はその家族 9. 公募による一般市民

障がい理解促進部会活動報告

資料 1-1

＜障がい理解促進部会＞ 部会長：中島 副部会長：望月

メンバー	中島 克仁（益田市社協）、望月 浩幸（希望の里福祉会）、岩本 悟（はびねす福祉会）、 枡本 典子（松ヶ丘病院）、後藤 美穂子（ポケットプラザ）、野村 健（基幹相談支援センター）、 安部 利一（益田市身体障害者福祉協会）、水上 真一（益田圏域難病患者・家族連絡会）、八束 政義（益田養護学校）、寺戸 弘明（民生児童委員）、江角 彩楓（益田保健所）
今年度の 内容	○障がい者週間の啓発活動。 ○コミュニケーション支援ボードについて検討する。
1 回目 11 月 17 日	今年度の取組について ○障がい者週間の周知について 「いのち・愛・人権展」において、パネル展示を行う。 12 月にひとまるビジョンで周知する。 ○コミュニケーション支援ボードについて 令和3年度にキヌヤ、ゆめタウン、イオンへ聞き取りを行った内容について報告。
12 月 1 日 ～12 月 8 日	「いのち・愛・人権展」 ・障がい者週間 ・益田市障がい者自立支援協議会 ・あいサポート運動 パネル展示を実施した。…別紙①
12 月	「障がい者週間」12 月 3 日～12 月 9 日 ひとまるビジョンで周知。
2 回目 令和 5 年 1 月 30 日	○障がい者週間の周知、いのち・愛・人権展のパネル展示について報告 ○コミュニケーション支援ボードについて協議 ・すべての障がいを対象にするのは難しい。当事者の意見を聞いた方がいい。 →継続して協議することとする。 ○令和3年度に行ったお店の障がい者に対する取組について ・いい取組をされている。お店の館内放送で周知してもらおうと良い。 →お店へ行きお願いすることとする。
2 月 24 日 ～3 月 1 日	キヌヤ、ゆめタウン、イオンへお願いに行った。 別紙②

12月3日から12月9日の期間は、
「障害者週間」です



「障害者週間」とは？

障害者週間は「国民の間に広く障がい者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がい者が社会・経済・文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めること」を目的に定められています。

益田市の取組

～益田市障がい者自立支援協議会について～

市では、「障がいのある人もない人も個人の尊厳が重んじられ、地域の一員として安心して暮らせるまち」を目指し、益田市障がい者自立支援協議会を主体として、様々な取組を行なっています。

益田市障がい者自立支援協議会とは、障がい当事者等の団体や民間・行政の関係機関等から構成され、益田市の障がい者の生活を支える事業運営のシステム作り、障害福祉サービスの提供体制確保、ネットワーク構築等について調査、審議、提言等を行う機関です。



令和3年度の活動状況を紹介します！

課題解決のための専門部会として、「就労・社会参加支援部会」「障がい福祉人材育成部会」「障がい理解促進部会」を設置し、活動しました。また、全体会を年2回、相談支援会議を毎月1回開催しています。

★各部会の主な活動等



「就労・社会参加支援部会」

- 「障害のある方の地域での余暇の充実に向けた、現状把握のためのアンケート」実施
 - ・対象者：就労継続支援A型・B型、就労移行支援事業所の利用者及びその家族
一般就労中のエスポア利用者

「障がい福祉人材育成部会」

- 既存の人材育成に係る研修の活用（見える化）
 - ・市内(圏域)の障害福祉に関する研修情報を市HPへ掲載。
 - ・研修情報の把握と市内関係機関への情報提供。
- 研修企画
 - 令和4年2月14日に、若い世代と障害福祉サービス従事者(経験年数5年未満)の方を対象とした研修会を企画。
 - 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、延期。

「障がい理解促進部会」

- 「障害者週間」の啓発
- コミュニケーション支援ボードの検討。
- 市内3店舗の商業施設で聞取りを実施し、各店舗で障がい者に関する取組や困りごとなどを調査。

益田市障がい者自立支援協議会

「障がい理解促進部会」お店への聞き取り

日時：令和5年2月24日（金）16：30～17：00

場所：(株)イズミ ゆめタウン益田（店長・岡杖真一郎様）

参加者：中島部会長 望月副部会長 城市

【周知について】

- ・館内放送で放送することは了解した。1日に1～2回くらいになると思う。サービスカウンターで放送する。

【コミュニケーション支援ボード】…部会で当事者の意見を聞いて検討していくことを伝える。

- ・了解した。

【その他】

- ・手話講座を月に1回やっている。講師に中井さんが来られる。現在2年目となる。挨拶は手話でできるようになった。

聴覚障がい者から、手話で対応したことについてうれしかったと手紙がきた。

- ・あいサポーター研修を13人受けている。

- ・認知症サポーター研修を13人受けている。

- ・車いすの方がご家族のご病気でどうしても買い物に行かなければならない状況になり、介護タクシーで買い物に来られた時に、従業員が車いすを押して買い物支援を行った。

- ・社長は、手話講座やあいサポーター研修など続けるように。地域の人の受け皿になることが大事という考えをもっている。

- ・3月1日から店長が変わる。新店長：がもう店長。引継ぎを行う。

- ・これからは、障がい者の支援はお店との連携が大事になってくると思う。

- ・手話言語条例ができたことをもっと発信した方がいい。（市への意見）

益田市障がい者自立支援協議会

「障がい理解促進部会」お店への聞き取り

日時：令和5年2月24（金）14：00～14：50

場所：（株）キヌヤ（代表取締役専務・寺戸 裕之様）

参加者：中島部会長 望月副部会長 城市

【周知について】

- ・館内放送は業者に委託して放送を録音している。どういう形でやれるか考えたい。

【コミュニケーション支援ボード】…部会で当事者の意見を聞いて検討していくことを伝える。

- ・了解した。ボードは掲示期間を設けることになるかも。

【その他】

- ・2階のパブリックスペースで研修会などやるのはいいと思う。コロナになる前は、月に1回医師会の看護師が来られて「みんなの保健室」をやっていた。

無料なので、体験コーナーなどやられてもいいと思う。（盲導犬とのふれあい、車いす体験など）

益田市障がい者自立支援協議会

「障がい理解促進部会」お店への聞き取り

日時：令和5年3月1（水）13：30～14：00

場所：イオン益田店（人事総務課長・菅沢 忠文様）

参加者：中島部会長 望月副部会長 城市 三好

【周知について】

- ・館内放送で周知することは問題ない。

【コミュニケーション支援ボード】…部会で当事者の意見を聞いて検討していくことを伝える。

- ・コミュニケーションがとれない方が一人でレジに並ぶことが少ない。基本的に付き添いの方もいっしょに来られる。
- ・サービスカウンターにコミュニケーション支援ボードを置くのはいいかもしれない。

【その他】

- ・現在、お店に置いてある車椅子は1台になっている。3台→1台に減らした。車椅子を利用される方のほとんどは高齢の方で歩くのが疲れた時などに利用されている。身体障がい者の方などは自分の車椅子を使用されるためお店のものを使うことは少ない。

- ・障がい者雇用について。現在3名雇用している（西部高等技術校2名、エスポア1名）。会社が目標としている障がい者雇用率は2.3%。益田店は1.81%だが、今後障がい者雇用率2.73%を目指す。

- ・益田店の休憩スペースを減らすことになったとき、以前、神奈川の支店に勤めていた頃、障がい者の方がフードコートにいる様子を多く見かけた。居心地がいいのだなと思った。フードコートの大切さを実感した。

- ・3月25、26日に徳栄建設とコラボし服を集めて海外に送る事業をする。

- ・例えば、障がい施設でつくったものをイオンで売るなどのコラボをすることで、周知の方法として館内放送以外にも身近で触れ合う機会を作ってみたらいいかもしれない。10月に2周年祭があるのでそれまでに機会があれば声をかけてほしい。

- ・レジの効率化を図るために「レジゴー」のシステムを取り入れた。専用の端末、もしくはアプリを読み取ることで利用可能。端末にバーコード読み取り画面が表示されそこに商品のバーコードを読み込むことで画面に商品名と値段が表示される。専用のレジにてお会計を済ませることで普通のレジより早く会計ができる。

就労・社会参加支援部会活動報告

資料 1-2

＜就労・社会参加支援部会＞ 部会長：青木 副部会長：隅田

メンバー	青木浩文（エスポア）、隅田典宏（ひまわりの家）、青木真由美（益田公共職業安定所） 山口育美（株きのこハウス）、澤江功一（益田地域家族会）、川崎訓明（医師会病院）、 三浦来美（益田保健所）、檜谷佳誉子（F O H）、野村哲也（ウインド）
今年度の内容	○「地域で障がいのある方の余暇を充実させるため、現状把握のアンケート」の結果を踏まえた活動内容の検討。
8月18日	相談支援会議においてアンケートの結果を報告。
1回目 11月17日	前年度の振り返り・今年度の取組について アンケート結果から現状の生活に満足している人が多い意外な結果となったが、「楽しみがあると知った上で十分としているのか、楽しいことを知らないままの満足かもしれないのでは」という意見や「そこを掘り下げてみては」という意見もあり、引き続き話し合いを行うことを確認。
2回目 3月17日	来年度の取組について 当初予定していた余暇の資源マップの作製については白紙に戻す。 障がいのある方への支援を行っている益田西ロータリークラブと連携し、イベント等の情報発信を行っていく。

障がい福祉人材育成部会活動報告

資料 1-3

<障がい福祉人材育成部会> 部会長：牧原 副部会長：池永

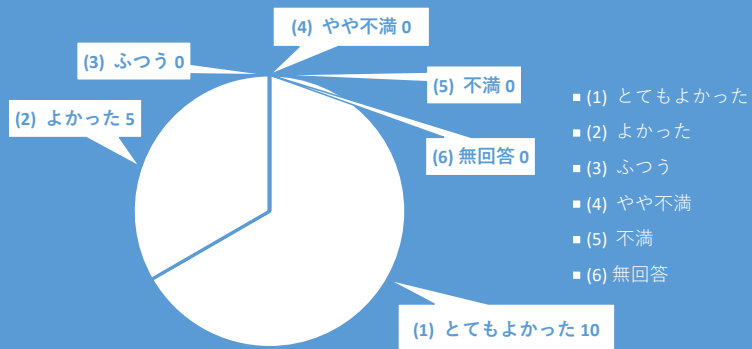
メンバー	牧原 直也（ラポール宝生苑）、池永 綾子（ぷらっと）、福原 直美（ほっと）、古川 和子（あゆっこ益田）、石飛 美登里（益田児童相談所）、中村 優（益田保健所）
今年度の 内容	「第1期益田市障がい福祉人材育成プラン」より 既存の研修の活用（見える化）※継続 研修企画 ※継続
1回目 11月17日	今年度取組む内容について 「第1期益田市障がい福祉人材育成プラン」より ①既存の研修の活用（見える化） ②研修企画（基礎・階層別 他） 既存の研修の活用（見える化）について ①市公式ホームページへ研修情報を掲載する。 昨年度は、主催者に対する実績報告の提出やアンケート実施・集約を求めているが、提出がなかったことを鑑み、今年度は、市に依頼があったもの・情報提供があったものの周知・掲載に留め、実績報告までは求めないこととする。引き続き、研修に関する情報を集約し市公式ホームページに掲載する。 ②研修企画（基礎・階層別 他） 実施方法：昨年度、コロナ第7波のため中止していることから、オンライン研修とする。 内容：「先輩の話」を軸に、その後、参加者を少数に分けてグループトークを行い、交流を図る。 開催時期：次回検討
通年	市ホームページへ「障がい福祉に関する各種研修会」の情報掲載 ・市ホームページへ掲載した研修 6件（令和4年5月～令和5年1月実施）
2回目 12月12日	研修企画について【企画案】 ・日時：令和5年1月27日（金）10：00～12：00 ・会場：zoomによるオンライン研修 ・目的：他事業所との横のつながりを深める ・対象者：若い世代及び障がい福祉従事経験年数の5年未満の方 ・内容：先輩の話 + グループトーク + まとめ ・各事業所への案内：令和4年12月中旬に案内文書発送 ・講師について：部会長・福原部会員とで1月中旬までに調整し、事務局へ連絡 ※次回部会で、研修会の最終打ち合わせを行う。
12月26日	各事業所へ研修会の案内文書発送

1月18日	講師派遣依頼送付
3回目 1月23日	研修企画について ・申込者数：17名 ・グループトークについて：4グループに分ける。 (17名＋講師3名＋部会員6名＋事務局2名) ①自己紹介 ②先輩の話を聞いての感想 ③日ごろ感じていること・この仕事に就いたきっかけ 等 ・グループトークのルール：意見に対して、否定的なことは言わない。 ・アンケートについて：今回も実施し、後日集計結果を報告する。 ・オンラインテスト：後日実施（1/26実施）
1月27日	オンライン研修開催
4回目 2月6日	オンライン研修について ・参加者数：17名 ・グループトークについて：意見集約をグループごとに部会員が報告。 ・アンケート結果について：別添のとおり 今年度のまとめ ・R3年度に実施できなかった研修について調整・実施した。 ・「既存の研修の見える化」については、引き続きHPへ掲載する。 ※評価の在り方については、検討する必要がある。 来年度の部会について ・人材育成における各事業所の評価：研修アンケート集約及び参加実績 ・モチベーションを上げるシステム作り：冊子作製 ※できれば、冊子作製まで実施したい。

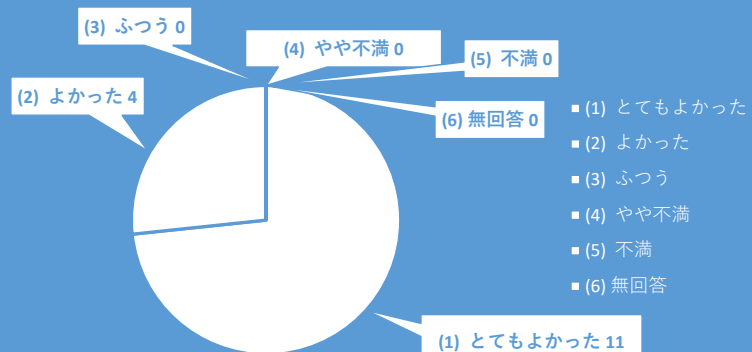
障害福祉サービス人材育成オンライン研修参加者アンケート結果 ①

回答者数 15 人

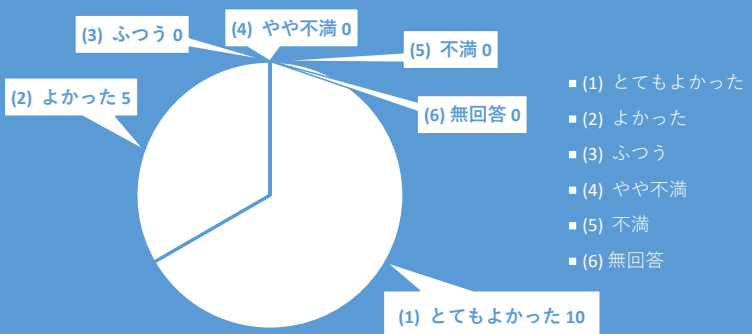
今回の研修に参加した感想



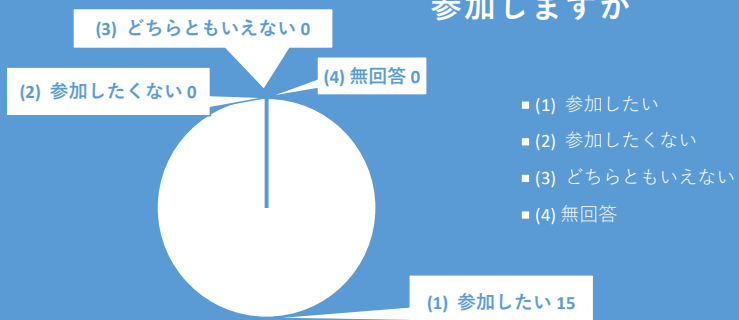
先輩の話について



グループトークについて



このような会が次回以降もあれば、 参加しますか



障害福祉サービス人材育成オンライン研修参加者アンケート結果②

今回の研修に参加した感想

- ☐ あまり他施設の方とコミュニケーションをとる機会が少ないので、仕事に対する考え方をもう一度見つめなおすことができました。
- ☐ 何年も長く働いておられる先輩方のお話や、他事業所の方々のいろんなお話が聞けて良かった。普段ゆっくりお話をすることがないので、とても良い機会をいただけたと感じた。
- ☐ 先輩方のこれまでの経験を聞いたり、グループトークで同世代の方たちの話を聞き、同じような悩みや困っていることを共有できてよかった。
- ☐ どの人にも「最初」があるということを改めて意識することができ、よかった。
- ☐ 先輩方の話を聞けて良かったです。電波が悪くて、話のいいところで止まったり、ブツブツ切れたりしたのが残念でした。
- ☐ 10年以上働いている人でも辛かったことや失敗があって、その経験から上手にできるやり方を学びながら働いていることが分かった。また、相談できる同僚や先輩がいると、いいアドバイスが得られたり、楽しく働けると聞いて、いい人間関係を築きたいと感じました。
- ☐ いろいろな方の話をたくさん聞けて参考になりました。
- ☐ 自分だけではなく、他の方も同じような思いを持っておられ、共感できました。先輩方の取り組みの思いを聞き参考になり、今後役立てたいと思います。
- ☐ 普段あまり接点のない他事業所の方の経験談を聞けたり、職員間連携の重要性を改めて確認できる場となった。オンラインではあったが、グループトークも中身ある話をすることができた。
- ☐ 自分だけでなく、同じように悩んだり、取り組んでおられる先輩や周りの人の話を聞けて良かったです。

先輩の話について

- ☐ 今の職に就くまでの経歴も知ることができ、誰も同じように苦労してここまで来ることができているのだとわかりました。未来への不安が少し薄れたように感じます。
- ☐ 先輩方も、今自分が悩んでいることで悩んでいた時期があると知りました。また、それについての解決法もお話ししてくださり、参考になりました。資料があるとより理解しやすいと思います。
- ☐ 今までの職歴や資格取得に関することを聞くことができて、モチベーションにつながった。普段交流する機会がなかったため、顔合わせができてよかった。
- ☐ とても勉強になった。仕事をする上で大切なことや、モチベーションを保つ方法などが分かってよかった。
- ☐ 先輩方のこれまでの経験で起きたことや、悪いことだけでなく良いこともたくさんあるんだなと思えるような話を聞くことができた。
- ☐ ご自身のこれまでの経験や仕事をする上で大切だと思うこと、心がけるべきことを聞くことができたので、参考になりました。
- ☐ 具体的な体験で分かりやすかった。
- ☐ 先輩方の考えを聞くことができてよかった。考え方の勉強になりました。
- ☐ いろいろな職種・職場を経験されて、いろいろな学びを経験するのもいいことだと感じた。「失敗と捉えず、上手くできなかったと捉える」という話を聞いて、ネガティブに悩むだけでなく、考え方を变えることも大切だと知りました。
- ☐ 職場の環境や目標を決めることでモチベーションを上げることができると実体験を聞くことができ、勉強になりました。3人とも共通して研修の大切さを教えていただきました。
- ☐ 「コロナになってから大変だったこと・ストレスがあったこと」→「対応方法、ストレス解消法」「モチベーションの持って行き方」「コミュニケーションの重要性」など、具体的な経験を踏まえて話があったため、わかりやすく、改めて見つめなおす機会にもなりよかった。
- ☐ 同じような福祉サービスで関わってこられた先輩の話を聞いて、安心と今後のモチベーションにつなげていけたらと思いました。

グループトークについて

- ☐ それぞれの困ったこと等、あまり気負わずに話せたと思います。相談ができる環境は大切だと実感しました。
- ☐ 普段関わりの少ない方とお話ができてよかったです。ファシリテーターの方が、全員に話を振ってくださり、楽しくお話ができてよかったです。
- ☐ ネット環境の問題で途切れる参加者もあった。普段交流する機会がなかったため、顔合わせができてよかった。
- ☐ それぞれ皆さん自分と同じように悩んだり模索したりしておられ、自分だけではないことが心強く感じた。やりがいを感じるなど共感できることがたくさんあり、この仕事の良さを改めて確認できた。
- ☐ 現在の自分と同じような悩みや困っていることを聞き、自分だけではないのだと感ずることができ、頑張ろうと思えた。
- ☐ みなさんが批判をせず、話しやすい雰囲気だったのがよかったと思います。同じ福祉に関する仕事をしていても、環境が異なる人が集まって意見交換できたことは、とても新鮮でした。
- ☐ 顔の見える関係づくりの第一歩になったから。
- ☐ 現場の声が聞けてとても励みになった。
- ☐ さまざまな職についている方々の考え方を聞くことができてよかった。自分の気持ちを相談できてよかった。
- ☐ 否定されず、穏やかな雰囲気です話を聞いたり、話せてよかった。が、電波が悪くて残念でした。
- ☐ 他事業所での悩み事も自分と同じ思いがあり共感できました。進行役がいたことで緊張感も薄れてスムーズに話し合いをすることができました。
- ☐ この場であったグループトークのような、ラフだけど重要なことについて話し合えることが大切だと改めて感じた。オンラインということで、リアクションがよくわからず、話が止まる場面が大変だと感じた。
- ☐ 普段かかわりが少ない方々と話ができてよかった。

このような会が次回以降もあれば、参加しますか / 参加する場合、どんな内容がよいですか

- ☐ 今回のグループトークのように、雑談のような雰囲気です福祉など仕事について話せる場があるとよいと思います。
- ☐ 今回のような「つながり」の生まれる内容が、またあると嬉しいです。
- ☐ 感染対策をしながら、対面であってもよいと思った。
- ☐ いろいろな事業所の方が参加しておられたので、その事業所ならではのこと（馬と触れ合える？）などあれば、お話を聞いてみたい。
- ☐ 今回はリモートだったが、コロナが落ち着いたら、実際に集まって、もっと深く話がしたいです。
- ☐ 専門的な知識がないと参加ができない、というものではなく、仕事について思うことを話し合えるような雰囲気だと、緊張しすぎたり構えたりせず参加できると思います。
- ☐ 事例を基にした勉強会（グループ討議など）
- ☐ ケーススタディのような内容
- ☐ 「コロナになってから大変だったこと・ストレスがあったこと」→対応方法、ストレス解消法
- ☐ 堅苦しくなく楽しく話せる。同じ職種で話せる。
- ☐ 他事業所を見学したり体験できれば、他への視点からも考えることができるのではないのでしょうか。
- ☐ 今回と同様の内容でもいいが、先輩の話を最初からグループ単位でやると、グループトークの時間もしっかり取れ、先輩の話ももっとしっかり掘り下げられると感じた。
- ☐ 事業所回り、見学。グループワークなど関係を作る場。

その他、意見等

- ☐ 私と同じように経験の少ない人で、つながりを求める人は、多くおられると思います。また企画してくださるとうれしいです。
- ☐ ありがとうございます。
- ☐ 電波が悪くて止まってしまって、いい話が聞こえなかったのが残念でした。
- ☐ ほかの先輩方の体験など、もっと聞きたいです。
- ☐ 3年ぶりの開催ということで、久しぶりに他の方と話ができてよかった。

第6期益田市障がい者基本計画等策定スケジュールについて

1 計画の期間

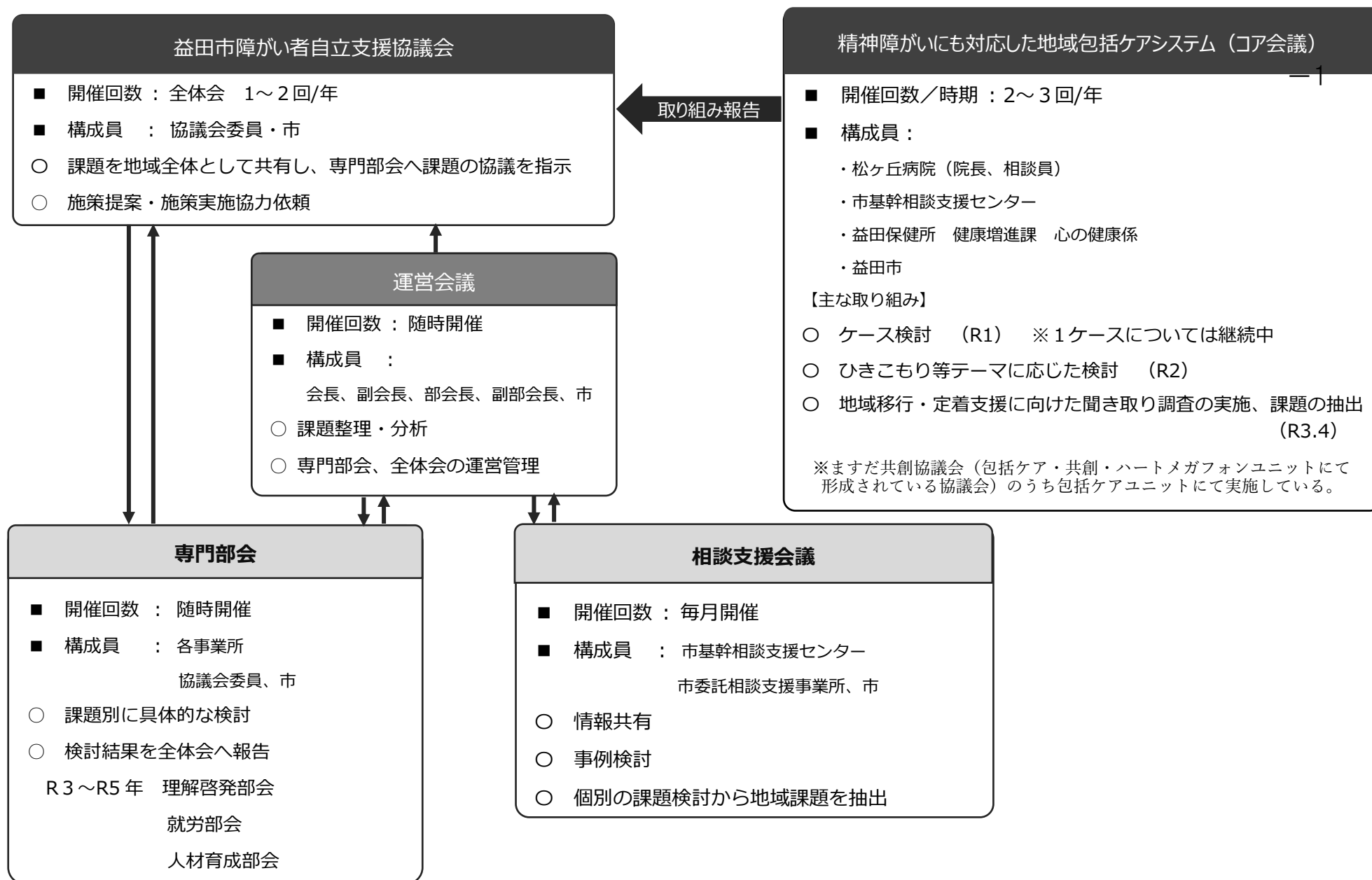
—1

- ・障がい者基本計画：6年間（令和6年度～令和11年度）
- ・障がい福祉計画、障がい児福祉計画：3年間（令和6年度～令和8年度）

2 計画策定のスケジュール

	益田市障がい者 自立支援協議会	益田市
令和5年 4月		・第1回福祉計画等策定検討委員会
5月	第1回全体会	・第5期計画の評価・分析
6月		
7月		・障がい者・児のニーズ把握
8月		・成果目標、サービス見込量の検討 ・計画案作成
9月	・運営会議	
10月	適宜開催し、計画について 協議・検討	
11月	・第2回全体会	・第2回福祉計画等策定検討委員会 ・政策調整会議
12月		・福祉環境委員会
令和6年 1月		・パブリックコメント実施
2月	・第3回全体会	・政策調整会議 ・福祉環境委員会調査会
3月		・全員協議会
4月		【計画開始】

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築 ～益田市の協議の場の設置～



高齢者及び障がい者等個別避難計画作成支援事業の実施について

1 概要

令和3年5月「災害対策基本法等の一部を改正する法律」が施行され、自ら避難すること¹が困難な避難行動要支援者の避難の実効性確保に向け、個別避難計画の作成が市町村の努力義務となり、地域防災計画に基づき、概ね5年程度で取り組むよう周知されている。

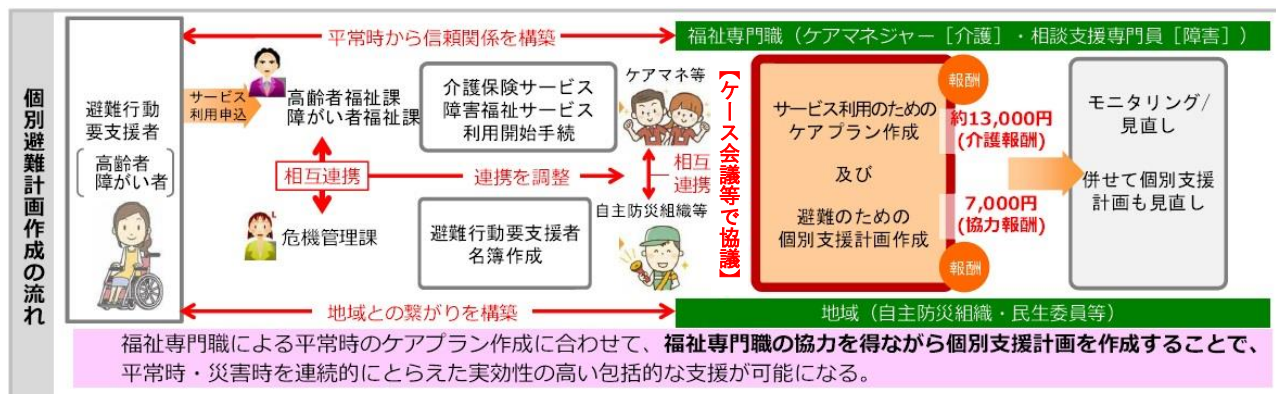
そうした状況を踏まえ、本市における高齢者及び障がい者等に対する個別避難計画の作成については、令和5年度から避難行動要支援者の心身の状況や生活環境等を把握している福祉専門職（ケアマネジャー及び相談支援専門員）等の協力を得ながら取り組むこととする。

2 避難行動要支援者（「益田市地域防災計画」で位置づけている者）

- (1) ねたきり、認知症等要介護認定3～5を受けている者
- (2) 身体障害者手帳1級～2級を所持する者
- (3) 知的障がい者でA判定の療育手帳を所持する者
- (4) 精神障害者保健福祉手帳1級を所持する者
- (5) 自主申請者

3 個別避難計画の作成（令和5年度）

- (1) 対象者 高齢者 550人程度
障がい者 70人程度
- (2) 計画作成の流れ



- (3) 作成経費 7,000円/件（地方交付税措置）

4 今後の予定

- (1) 市民関係者等への事業周知
- (2) 福祉専門職等を対象とした防災対応力向上研修の実施